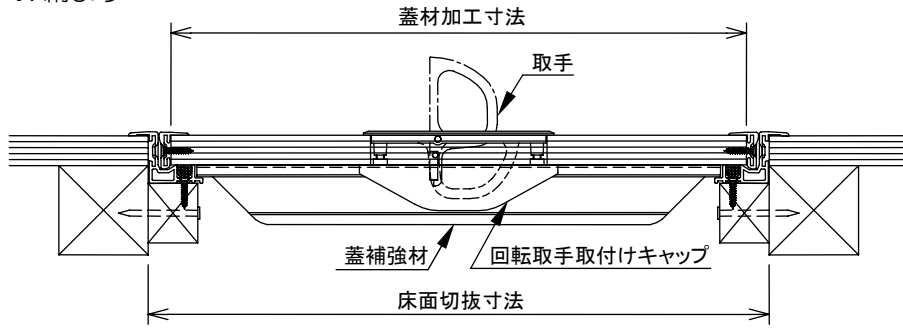


施工要領書

ホーム床点検口 HFXB 型

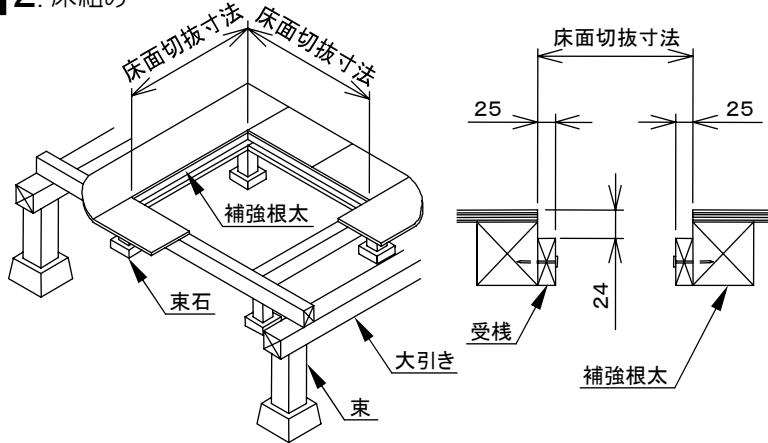
1. 納まり



■ 付属部品明細表

| 付属部品名 | 入り数 | | |
|----------------|-----|----|----|
| | 30 | 45 | 60 |
| 取手 | 1 | 1 | 1 |
| 回転取手取付けキャップ | 1 | 1 | 1 |
| なべ小ねじ(M4×16) | 2 | 2 | 2 |
| 平座金(呼び径 4) | 2 | 2 | 2 |
| パーティビス(3×16) | 16 | 16 | 16 |
| 蓋補強材 | — | 1 | 1 |
| なべタッピンねじ(4×12) | — | 4 | 4 |

2. 床組み



①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。

| 型式 | 床面切抜寸法(mm) |
|--------|------------|
| HFXB30 | 301×301 |
| HFXB45 | 451×451 |
| HFXB60 | 601×601 |

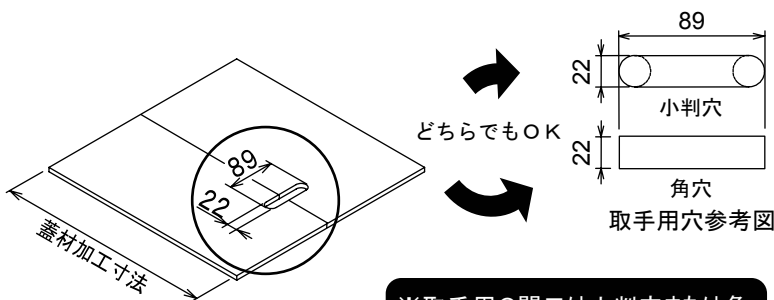
②床仕上面から24mmの段になるように、受棧をまわします。

⚠床の強度は、束を入れ十分確保してください。

⚠切抜いた床材は、蓋材に使用してください。

⚠改築の場合、下面の配管にご注意ください。

3. 蓋材の加工



①蓋材加工寸法に、蓋材(切抜いた床材)を切断し、蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口、小判穴または角穴(22×89)を設けます。

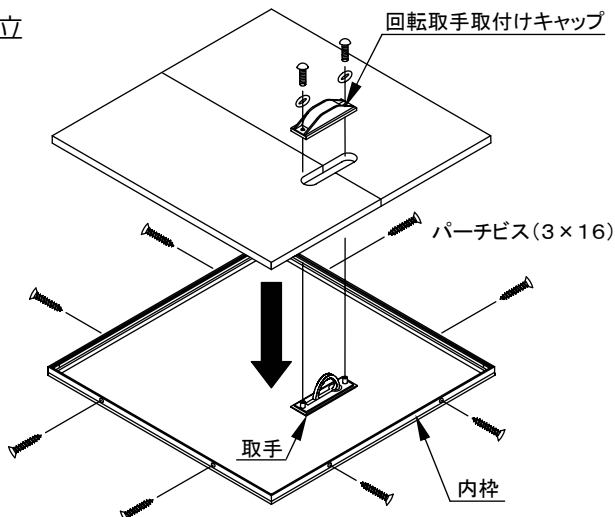
| 型式 | 蓋材加工寸法(mm) |
|--------|------------|
| HFXB30 | 278×278 |
| HFXB45 | 428×428 |
| HFXB60 | 578×578 |

※取手用の開口は小判穴または角穴(どちらでも可)

⚠厚みは、15mmになるようにしてください。

⚠板材の場合、板の継目が中央にくるように切断してください。

4. 蓋の組立

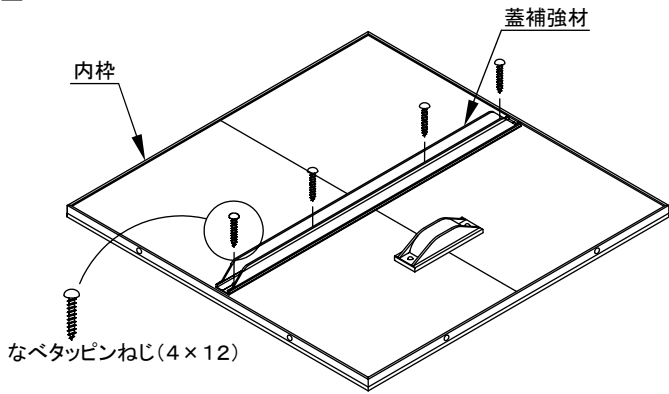


①内枠を裏返し、加工した蓋材をはめ込みます。

②内枠の外側から、内枠と蓋材をパーティビス(3×16)で固定します。

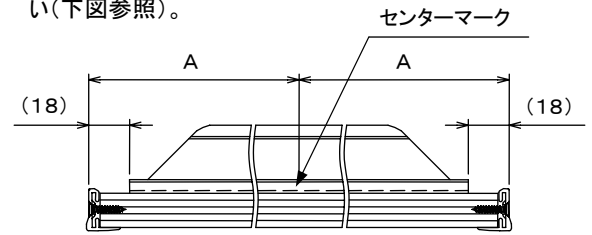
③蓋材になべ小ねじ(M4×16)で取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。

5. 蓋補強材の取付<45型・60型>



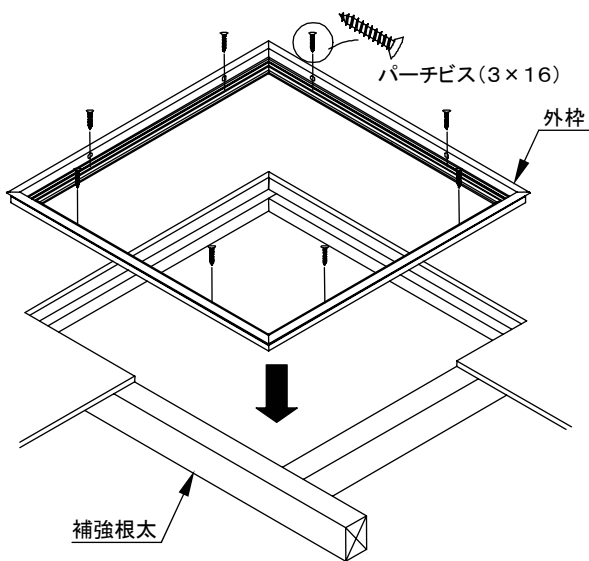
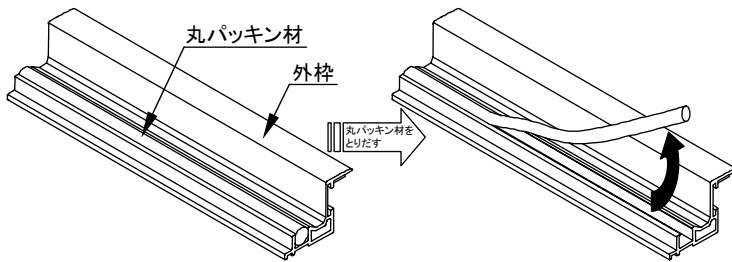
①蓋補強材は、蓋材の裏面になベタツピンねじ(4×12)で固定してください。このとき、板の継ぎ目と直角になるようにしてください。

⚠蓋補強材は蓋材の中心にくるように取り付けてください(下図参照)。

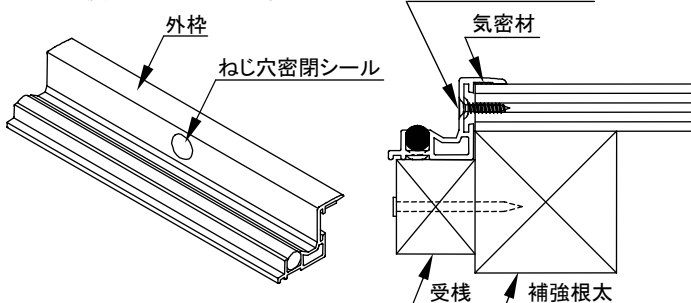


6. 外枠の取付

<ねじを下向きに止める場合>



<ねじを横向きに止める場合>



①外枠に入っている丸パッキン材を取り出します。
(丸パッキン材を外した部分にねじ穴があります。)

②開口した床面に外枠をはめ込みます。

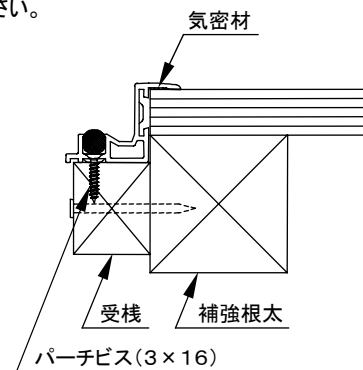
③外枠と床面、外枠と受棧の間に隙間が生じないように注意し、パーティビス(3×16)で外枠を受棧に固定します。

⚠額縁の裏側にある気密材が強く押されるように外枠を取付けてください。気密性が低下する場合があります。

④丸パッキン材を最初に入っていたように、外枠にはめ込みます。

⑤蓋を外枠にはめ込みます。

⚠蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は1mm以内してください。



①外枠側面に貼られているシールを取ります(8箇所)。
(シールの裏側から細い棒等で押すと外れやすいです。)

②開口した床面に外枠をはめ込みます。

③外枠と床面、外枠と受棧の間に隙間が生じないように注意し、パーティビス(3×16)で外枠を固定します。

④蓋を外枠にはめ込みます。

⚠ 使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。